

友達や地域の方とふれあいを通して「コミュニケーション力を育てる」を重点に活動

愛知県名古屋市

活動名

豊田小学校
トワイライトスクールによる活動

関係する学校

豊田小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		1人	47人	289日	有	無	無	無
放課後子供教室	実施場所				開始年度	放課後児童クラブとの連携		
	プレイルーム1、2（小学校内）				13年度	連携なし		
コミュニティスクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

- ・放課後子供教室として、年間を通じて平日と土曜を活動日としており、自由遊びや学びの活動、体験活動を通じた異学年交流、世代間交流の場としている。
- ・地域の事業ボランティア（教育活動推進員）の方により、民ようおどり・よさこいおどりなどの17の体験講座が開かれている。（26年度は、17講座、延べ159回の開催）
- ・土曜親子ふれあい事業「地域ふれあいサタデー」では、校内のビオトープをお借りして、親子で稲作体験（田植、稲刈り）の活動をしている。
- ・学区スポーツ推進委員の方とグラウンドゴルフを楽しんだり、学区子ども会の方とドッジボール、学区インディアカ部の方と親子でインディアカを楽しんだり、保護者・児童・地域の連携・学校の協力を得て、活発な交流活動となっている。
- ・これらの豊かな活動を通じて、子供たちの、自主性・社会性・創造性を育てている。

特徴

【特徴的な活動内容】

【民ようおどり、よさこいおどり】

・年間を通じて取り組む「民ようおどり」「よさこいおどり」の体験は、伝統文化に触れる良い機会となっている。回を重ねるごとに上手になる踊りは、9月に地域で行われる敬老会の場で披露し、世代間交流の機会にもつなげている。

【稲作体験】

・稲作体験として、学校内のビオトープを活用して、田植から稲刈りまでを親子で体験する機会を設けている。これらの稲作体験は、地域の方の指導のもとに行われ、都会に育つ子供たちにとっては、大変貴重な場となっている。さらには、親子の触れ合いを進めるとともに、自然や食べ物の大切さを考える機会にもなっている。

【実施に当たっての工夫】

- ・トワイライトスクールは、全学年を対象とした事業であり、自由参加が基本である。安心安全な子供の居場所を作るだけでなく、様々な体験を通じて、子供の自主性、社会性、創造性などを育むことが重要となる。このため、自由遊びばかりでなく、学びの時間、体験活動の時間などで活動のメリハリをつけ、気持ちの切替えができる日課を設定している。また、体験活動の種類、回数の充実により、トワイライトスクールの魅力を高めることで、参加児童の興味関心を高めている。
- ・トワイライトスクールは、「地域の子供たちを地域で育てる」という視点も持っている。親子の交流だけでなく、地域の方との交流も進めており、地域の方と子供たちとの面識も深まることで、地域で自然とあいさつをする姿も見られるようになり、子供のコミュニケーション能力を育てることもつなげている。



親子で田植え

事業を実施して

地域の事業ボランティアの方による民舞おどりなど多種多様な体験講座、親子による稲作体験を通して、地域の方、親子、友達同士の交流が深まり、心優しい心配りのできる子供が着実に育っている。地域の敬老会で、「民ようおどり」の成果発表を行っているが、「楽しみにしている」、「若い頃を思い出す」などの感想が聞かれ、とても好評である。

その他

学校のビオトープを稲作に有効活用することは、物理的な条件のみならず、地域の指導者の存在が不可欠である。名古屋市での取組は、施設設備の環境整備だけでなく、地域ボランティアという人的資源にも支えられた活動になっている。そのような地域資源を有機的に結び付け、豊かな活動につなげていくのが、教職経験豊かな運営指導者（コーディネーター）の強みである。



よさこい踊り